



Ayase River Times

みんなで 「ほっと、いっしょに、いきいきと」
～安心・信頼を大切に 共に考え・学び お互いの自己実現を目指します～

あいのわ福祉会

< 施設長より >

あいのわ福祉会では、本年5月から東日本大震災被災地への職員派遣を継続的に実施している。JDF日本障害フォーラムという障害者団体の連合体が主体となる支援対象を障害者に特化した被災地派遣である。綾瀬あかしあ園でもこの間に8人の職員を派遣した。

既に震災から2ヶ月後の本年5月の時点で派遣職員の活動内容は、各避難所まわりを基盤にした活動が主であった。そこに滞在する方々の中で障害をお持ちの方を探し出し、困っていることはないか聞き取り調査をした上で、ひとつひとつ地道に課題を解決するという支援形態であった。その他には現地の障害者支援施設での直接支援や施設再開の準備、施設周りの泥掃除、通院の付き添い、移動や買い物支援、相談業務等であった。9月に入り活動内容は、仮設住宅への引っ越し支援、新しい生活環境を整えるための相談業務、特に利用者さんと行政との繋ぎ役としての業務が多くなっているようである。派遣職員は皆、学ぶことが多かったと言う。

どんなことでもお手伝いして少しでも被災者のお役に立てればという気持ちで被災地派遣を志願した職員達であるが、その気持ちをそのまま届けるには様々な壁があった。

依頼されたことを何から何まで直接お手伝いすることは簡単だが、派遣の期間はひとり10日前後である。「今日だけ、自分なりの支援」はかえって被災地の利用者さんの混乱を招くこともあるという現実を、身をもって体験するという。この一過性の支援を被災地の利用者さんはどう受け入れていったらよいのか、支援を受ける側の受け方は、支援を提供する側以上に難しいという相手側の問題があった。

そのため派遣された職員は皆、「自分たちは、地元の人たちが独自の力で復興に向かうための後押しをする黒子である」に徹することを常に心がけて活動する必要がある。自分がいなくなっても困らないように行政機関や福祉サービス、地域の担当者に繋げることこそが最も大切な派遣職員の仕事だということである。その結果、派遣された職員は、利用者さんとの会話の中で依頼を受けたことをどこまで入り込んで支援すべきか常に迷い、先に繋げることには神経をつかっていた。毎晩のように支援内容について話し合いを重ねたそうである。

私の頭には、支援者は「利用者さんが独自の力で復興に向かうための後押しをする黒子になる」という言葉が、また違った意味で残っている。被災地ではない当施設での日常支援にも通

じる考えである。全ての利用者さんには当てはまらないかもしれないが、利用者さんを福祉サービス事業のお客さんと捉え、何でもして差し上げることは簡単だ。けれどもその中で、ご本人がこれから生きていく上で本当に必要な支援のスタイルとは何なのか、被災地支援と同様に常にそのことを考えていなければならないことに改めて気付かされた。(太田 記)

< 保健室より >

まだまだ厳しい残暑が続いていますが、夏バテの出る時期でもあります。温めのお湯にゆったりと浸かり疲れを取って下さい。健康診断の結果もできました。要観察、再検のお知らせが入っていた方は、どうぞ病院へ行ってください。これから迎える食欲の秋を満喫するためにも、是非お願いします。(宇野 記)

< 事務室より >

9月に入ってから暑さに負けてしまったのか、体調を崩してしまい何年かぶりの発熱に…(*_*; キツカッタです。改めて普段の生活を見直して行かなければと思いました。

9月28日に東京都の検査があります。私は、初めてのことで、抜けの無いように準備をして行きたいと思います。(上野 記)

< 2F にこにこグループより >

にこにこグループでは、ボーリング大会を活動中に行いました。2チームに分かれ対戦し、ピンが倒れると「おっしい。やったー!!ガンバレー!!」などの声援が飛び交いみんなで大盛り上がり(*^_^*)皆さんボールを上手くレーンから転がしており、ストライクを取る方もいました。鈴やタンバリンなどの楽器を使って応援をし、みんなで楽しい時間を過ごしました。

(西川 記)



< 3F ゆいま〜るグループより >

ゆいま〜るグループでは、今年度より個別活動を実施しています。皆さんのやってみたいこと、試してみたいことなど内容は様々ですが、支援員と1対1でじっくり向き合っ活動しています。

秋になってからも全体行事やグループのレクリエーション等楽しい行事が待っています。楽しいことが山盛りの秋、てんこ盛りのゆいま〜るです。(坂内 記)

< 4F グループより >

先月暑い中行ったグループイベントの『流しそうめん』。皆さんの反響も大きく、なんと今月も第2回目を行ってしまいました！！

今月は前回と打って変わって台風接近中の為、食堂で行いました。寒さもあり、そうめんを流すことはせず竹にのせて雰囲気だけは満喫…(;・∀・)今回は食べるラー油(3種類)やツナ缶も用意して、味の変化を楽しみました。最初の趣旨とは少し違っていました。他グループの方やボランティアさんにも来ていただき、楽しいイベントになりました♪

(神野 記)



< クラブより >

☆音楽・ダンスクラブ☆

今月はアニソンイントロクイズを行いました。2チームに分かれてアニメソングのイントロ部分を交互に流して答え合うという形式で対決！アニメソングということでみなさん知っている曲が多かったので、とても盛り上がりました。音楽・ダンスクラブのみなさんはアニソンが大好きなようなので、機会があれば第二回も開催したいと思います。(尾臺 記)

☆スポーツクラブ☆

今回のスポーツクラブは『フリースロー対決』を行いました！大小様々な大きさのボールを、ネットのゴールにシュート！！2チームに分かれて行ったのですが、下から浮かせるように投

げる方、野球のキャッチボールのように力強く投げる方、皆さん工夫した投げ方でチャレンジしてくれました。また、ボールの大きさで得点が変わる為どのボールを使うか作戦会議をする方もいらっしゃいました。小さいボールで確実に得点を決めるか？大きいボールで大量得点を狙うか？白熱したゲーム展開で、大いに盛り上がりました♪ (神野 記)

☆オトナクラブ☆

大人のスポーツと言えば…ゴルフ!!ということでパターゴルフコンペを実施しました。

本物のパターを使う人もいれば、手作りのパターを使う人もいて、それぞれが自分に合った方法で参加。今回は1位だけではなく、「ブービー賞」と「まん中賞」を設定。2位、3位の人は少し悔しい思いをしていましたが、上位ではなく、思いがけず賞を受け取った人は満面の笑みを浮かべていました。普段はチーム戦が多いオトナクラブですが、個人戦はみんな真剣で口数も少なく頑張っていて新鮮でした。(春日 記)

ボランティアさん募集



綾瀬あかしあ園では、日常的な活動をお手伝いいただける方、外出、行事に参加いただけるボランティアさんを常時募集しております。詳細につきましては地域ボランティア担当 神野(じんの)・西川・尾臺(おだい)までお気軽にお電話でお問い合わせください。

電話 03-5682-7272

(地域ボランティア担当)

< お詫びと訂正 >

前月(9月)号に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

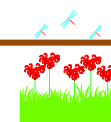
「9月の予定」(誤) 25日 第3回(いっしょ勉強会) → (正) 父母の会バザー

10月の予定



- 7日 たくみにふえすていばる
- 19日 全体保護者会
- 21日 全体行事
- 25日 訪問理美容 陽だまり

< 編集後記 >



来月は『たくみにふえすていばる』やバス外出などイベントが盛り沢山！皆さんと一緒に楽しい思い出をいっぱい作ってきたいと思います。(神野 記)